



東京産業保健総合支援センター研修案内(令和6年9月)

◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyosjohas.go.jp

◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

◆注意◆

令和2年10月開催分から「日医認定産業医研修」の受付方法を変更しております。

お1人様、月1回のみのお受講となっておりますので、必ず当センターホームページに掲載してある「日医認定産業医研修会」の受付方法の変更について(令和5年5月31日から一部変更)をご覧ください、ご了承の上、お申し込みください。

先着順です。(抽選ではありません。)

日医認定産業医研修(令和6年9月開催分) 申込受付日時 早見表

申込受付日時	研修日時		研修テーマ	単位
8月5日(月)	10時～	9月5日(木) 14時～16時	産業保健と法～労働者の自己健康管理と産業医・会社の法的責任～	専門2
	10時30分～	9月6日(金) 14時～16時	ストレスチェック医師面接のコツ	専門2
	11時～	9月17日(火) 14時～16時	医師の働き方改革 病院機能評価の概要	専門2
8月6日(火)	10時～	9月20日(金) 14時～16時	様々な両立支援の理解と対応 ～配慮を必要とする労働者に対して～	専門2
	10時30分～	9月26日(木) 14時～16時	メンタルヘルスの事例検討～産業医としてどう対応するか～	実地2

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
9月5日(木) 14:00～16:00 申込受付日時 8月5日(月) 10時～	産業保健と法～労働者の自己健康管理と産業医・会社の法的責任～ 労働者は自分の健康管理を自らがすべきことは当然ですが、労働者が持病を悪化させた場合に、企業が責任を問われることもあります。 「労働者に持病があるが、治療しようとしていない!」「健康に対する意識が低い!」「受診しない!」「生活習慣を改善しない!」「保健指導を守らない!」「再検査しない!」「面接指導を受けない!」などの「困った」従業員の結構悪化であっても会社の責任を問われるケースはあります。 産業医が責任を負う場面もあります。健康管理の責任は誰にあるのか、労災に当たるか否か、安全配慮義務を負うのはどういふ場合か、労働者が自分の健康管理を放置したことは法的にどう評価されるのか、などについて論じます。	MOS合同法律事務所 弁護士 小根山 祐二	生涯・専門2	55
9月6日(金) 14:00～16:00 申込受付日時 8月5日(月) 10時30分～	ストレスチェック医師面接のコツ 今まで200件以上のストレスチェック医師面接(高ストレス者面接)を担当した経験から、効果的な医師面接の進め方を考えます。 医師面接にはどういふ人が来るのか、問診票の活用法、面接の初めに何を伝えるか、ミニレクチャー、ミラクル・クエスチョン、面接の終わり方、報告書・意見書の書き方などのコツをお伝えします。 医師面接を初めて担当する嘱託産業医を念頭に置いていますが、面接の進め方を迷っている方もどうぞご参加ください。	㈱ジャパンEAP システムズ取締役・顧問医 米沢 宏	生涯・専門2	55
9月17日(火) 14:00～16:00 申込受付日時 8月5日(月) 11時～	医師の働き方改革 病院機能評価の概要 2024年から「時間外労働の上限規制」が課せられ、過重労働が常態化している医師の労働環境改善に向けて、医師の働き方改革が進められています。 改正医療法の、勤務間インターバルや面接指導、連続勤務時間の制限などについて解説し、医療機関勤務環境評価センターが行う評価機能事業について概説します。	小島原 典子	生涯・専門2	55
9月20日(金) 14:00～16:00 申込受付日時 8月6日(火) 10時00分～	様々な両立支援の理解と対応 ～配慮を必要とする労働者に対して～ さまざまな状況により、仕事を継続していくために両立支援が必要な方々がおられ、疾病に関しては保険点数として療養・就労両立支援指導料が設定されている状況もあります。 今回はこうした両立支援の必要性とその背景、産業医先の企業で確認しておく両立支援に利用可能な制度、産業医としてどのように対応していくか、といったことを取り上げていきます。	森田 哲也	生涯・専門2	55
9月26日(木) 14:00～16:00 申込受付日時 8月6日(火) 10時30分～	メンタルヘルスの事例検討～産業医としてどう対応するか～ 職場で直面するメンタルヘルスの問題事例を取り上げ産業医としてどのように考え、どう対応するのが望ましいか、一緒に考えていきたいと思います。	内田 和彦	生涯・実地2	50

◆産業保健研修◆ 産業看護職・衛生管理者・人事労務担当者等産業保健スタッフを対象とした研修です。

※単位等の取得はできません。

●産業保健研修の申込受付開始は、すべて8月1日(木)10時～です。

<web研修> ◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、お申し込みください◆

研修日時	研修テーマ	講師	定員
9月3日(火) 14:00～16:00	【web研修会】 海外派遣労働者と外国人労働者の健康管理 社会のグローバル化に伴い、海外に社員を派遣する企業や外国人労働者を使用する企業が増えています。こうした労働者には感染症など様々な健康問題があり、それに対応するための健康管理対策が求められています。本研修では、産業医が海外派遣労働者や外国人労働者に提供すべき健康管理対策について解説します。	濱田 篤郎	70
9月9日(月) 14:00～16:00	【web研修会】 事例から学ぶ産業保健スタッフが知っておきたい職場のメンタルヘルス対策の秘訣① 産業保健スタッフ等(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。講師がこれまで実際に見聞きしてきた職場のメンタルヘルス対策の失敗事例、成功事例を中心に、困難を乗り越えてうまく軌道にのせていくための秘訣をお伝えします。また、ストレスチェック実施後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時や高ストレス者への面談時に使えるツール、健康経営の推進に使えるツールなどもご紹介します。さらに、現在、厚生労働省で開催されている「ストレスチェック制度等のメンタルヘルス対策に関する検討会」の状況もお話しいたします。本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。	「こころの耳」事務局長 石見 忠士	70
9月13日(金) 14:00～16:00	【web研修会】 レジリエンスについて 仕事上の挫折や生活上でのネガティブなライフイベントは、程度の差はあれ、すべての人に共通して起こり得る。特に現代社会においては、以前よりも多種多様な困難や不測の事態がより身近に存在する現状がある。ネガティブなライフイベントは避けることが出来ないが、ネガティブなライフイベントを経験してもそれを糧とし、しなやかに乗り越えていくことが必要となるのではないだろうか。EAPカウンセラーの経験から挫折・困難な状況からの回復力である「レジリエンス」について情報提供いたします。	レジリエ研究所 所長/(一社)国際EAP協会日本支部 理事長 市川 佳居	70

<会場研修>

研修日時	研修テーマ	講師	定員
9月10日(火) 14:00～16:00	過労死等を防ぐために 令和5年度の過労死等の労災認定件数は1,097件となり、このうち、精神障害の労災認定件数は883件と過去最多になりました。こうした事案を防ぐには、各社が取り組んでいる長時間労働削減や健康確保、メンタルヘルス、ハラスメント等の対策について、現状や課題を分析し、さらなる対策を推進していくことが重要です。また、労災認定された事案から、過労死等を防ぐために必要なことは何か、考えていきたいと思えます。 ※当研修の後15:45～16:00の時間帯に、別講師による「働く人と職場における勤務間インターバル制度の価値」の講義を行います。	野村 みどり	55
9月11日(水) 14:00～16:00	働き方改革関連法をめぐる現状と課題 ～時間外労働の上限規制とカスタマーハラスメント～ 2019年4月に施行された「働き方改革関連法」及び同法の基礎となった「働き方改革実行計画」について時間外労働の上限規制を中心として振り返り、長時間労働者の現状と課題及び2024年4月に施行された「適用猶予事業・業務(建設業、自動車運転者及び医師)の時間外労働規制のあらましを解説します。また、2023年9月に「精神障害の労災認定基準」に追加されたカスタマーハラスメントの対策について解説します。	荒川 輝雄	55
9月18日(水) 14:00～16:00	ストレスチェック制度実施から ～歴史と流れ、大事な成果とは、高ストレス者とは～ 2015年12月から義務化して今年で9年目、基本となる57調査項目を軸に、80項目、100項目と増えているところもあるかも知れません。産業医の選任義務のある事業場、一般健康診断の対象者と同様の皆さんに実施義務のあるいま、その実施成果はいかがでしょうか。いま「ストレスチェック制度等のメンタルヘルス対策に関する検討会」の検討委員会が開催されています。何がどのように変化するか、まだ見えないですが、PDCAサイクルを取り入れながら、ストレスの気づき、セルフケアとして、メンタルヘルス不調の未然防止の重要性、集団分析での職場環境改善の方向性、こころの健康診断といえる意味を皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。 ※当研修の後15:45～16:00の時間帯に、別講師による「働く人と職場における勤務間インターバル制度の価値」の講義を行います。	労働者健康安全機構産業保健 アドバイザー 公認心理師 菅野 由喜子	55
9月24日(火) 14:00～16:00	産業保健スタッフのための定期健康診断の実際(基礎編) 定期健康診断は産業保健の基礎となるものです。この健診がどのような法律に基づいて行われるのか、誰が行うのか、結果の取り扱いについてどの様な規則があるのか等基本的な解説をします。また、実際に職場で困った事、苦労した事例などありましたらお持ち下さい。皆さんで検討しましょう。	高山 俊政	55
9月30日(月) 14:00～16:00	労働関係法令等の動向 ～新たな化学物質規制、個人事業者の安衛法適用等、法令の相次ぐ改正を考える～ 化学物質規制については対象物質が大幅に増加しており、今まで化学物質と無縁だと思っていた三次産業等の事業場でも今後は対応が必要となることが予想されます。個人事業者に対する労働安全衛生法の適用についても一定規則の改正が行われましたが、今後も改正が続くと思われます。また、家事使用人を労働者に含まれる等の労働基準法の改正も行われる予定であるほか、脳心臓疾患や精神障害の労災認定基準についても変更が相次いでいます労働関係法令等について現在どのような改正が行われ、そして今後どうなっていくのか、その動向について考えてみたいと思えます。 ※当研修の後15:45～16:00の時間帯に、別講師による「働く人と職場における勤務間インターバル制度の価値」の講義を行います。	中山 篤	55